



「貯蓄から投資へ」を実践するためには、どのような方法があるの？



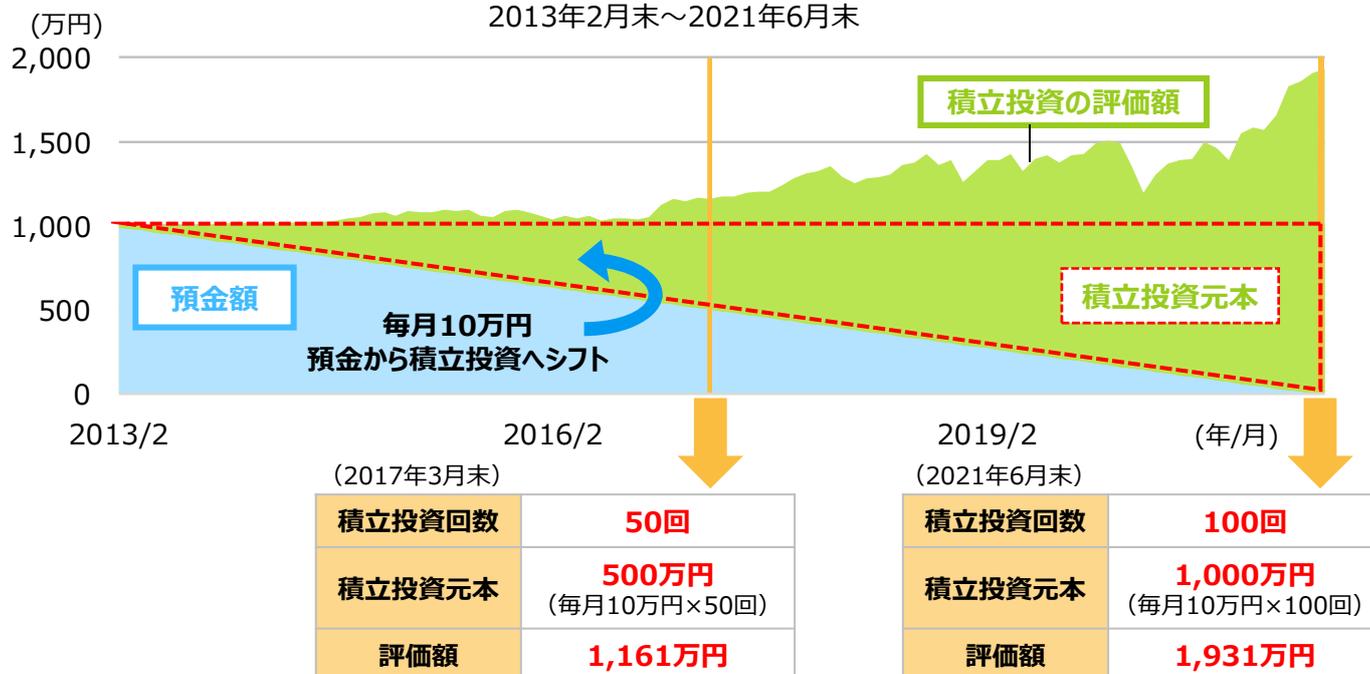
1つの方法として、使う予定のない預金や現金を「積立投資」にシフトするという方法があります。

積立投資は、少額から手軽に始めることができ、時間分散によってリスクを軽減できるため、投資未経験の方でも気軽に資産運用を始めることが可能です。

「積立投資」というと、毎月の収入で積立てをするものと考えの方が意外にも多いようです。しかし、**新規のお金を用意するだけでなく、使う予定のない預金や現金を少しずつ積立投資にシフトすることも可能です。**「貯蓄から投資へ」を「預金から積立投資」で実践してみましょう。

使う予定のない預金や現金を「積立投資」に活用！

＜預金1,000万円を毎月10万円ずつNYダウへ積立投資した場合の推移＞  
2013年2月末～2021年6月末



(注1) 積立投資は「毎月10万円」を毎月末に月末値で投資したと仮定して計算（経費等は考慮していません。）。ただし、最終月は投資しません。

(注2) NYダウは配当込み、円ベース。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は過去のデータを基に当社が行ったシミュレーションの結果であり、実際の投資成果ではありません。

一定の前提条件に基づくものであり、経費等は考慮していません。また、将来の成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

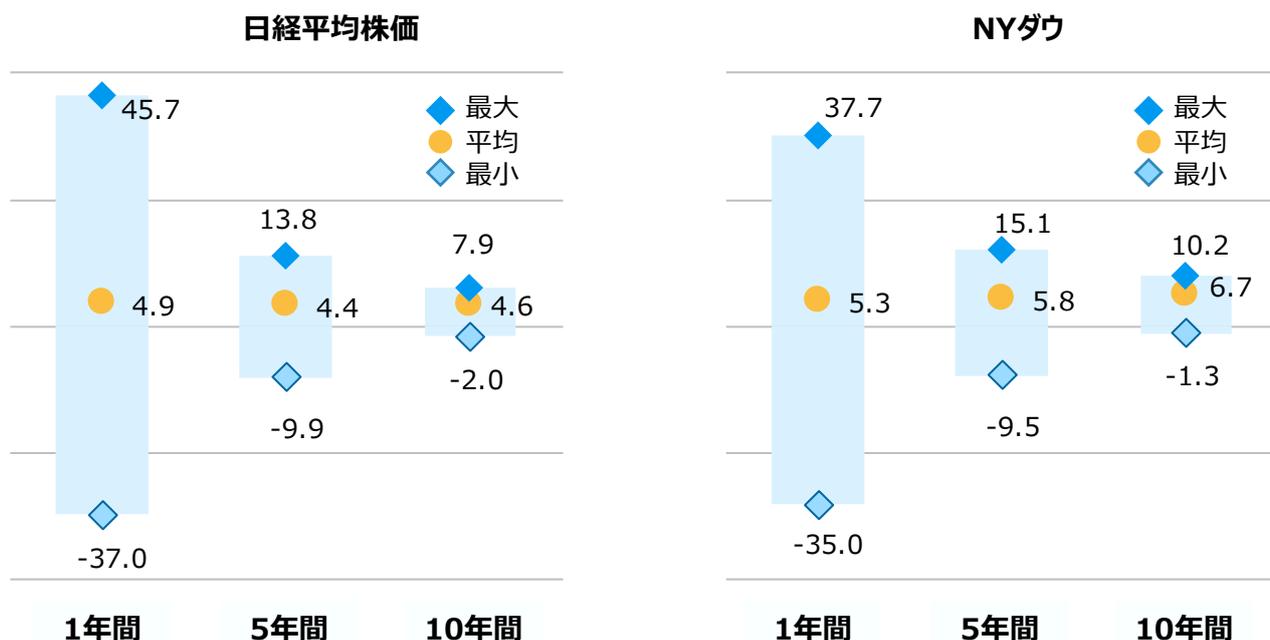
## Q. どのくらいの期間、投資をすればよいの？

A. 投資の基本は長期投資です。一般的に、投資期間が長いほど、リターンの上下のブレが小さくなると言われています。

下図をみると、1年間積立投資をした場合よりも5年間、10年間と積立投資の期間が長くなるほどリターンのブレが小さくなっています。大切な資産の形成は、長期投資を前提に運用を行ってみてはいかがでしょうか。

### 投資期間が長くなるほどリターンのブレは小さくなる傾向

<日経平均株価とNYダウに積立投資をした場合の投資期間別の運用リターン（年率、%）>  
2001年6月末～2021年6月末



投資期間	1年間	5年間	10年間
投資元本を上回った割合	<b>67%</b> (154/229回)	<b>72%</b> (130/181回)	<b>85%</b> (103/121回)

投資期間	1年間	5年間	10年間
投資元本を上回った割合	<b>72%</b> (164/229回)	<b>80%</b> (144/181回)	<b>95%</b> (115/121回)

(注1) 積立投資のシミュレーションは1年間（2001年6月末～2020年6月末の各月末を起点として1年間）、5年間（2001年6月末～2016年6月末の各月末を起点として5年間）、10年間（2001年6月末～2011年6月末の各月末を起点として10年間）の各投資期間、「毎月10万円」を毎月末に月末値で投資したと仮定して計算（経費等は考慮していません）。ただし、最終月は投資しません。運用リターン（年率）は最終月末の積立評価額を積立投資元本で除し、年率換算して算出。

(注2) 日経平均株価、NYダウは配当込み、いずれも円ベース。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は過去のデータを基に当社が行ったシミュレーションの結果であり、実際の投資成果ではありません。

一定の前提条件に基づくものであり、経費等は考慮していません。また、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

---

**【重要な注意事項】**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。